

就職活動を予定している（あるいは、活動中）の学生，大学院生，すべての皆様へ  
病院の医療情報システムに関する仕事を紹介します

## 就活支援セミナー「病院の医療情報システムを動かす仕事」

11月20日（火）夕方に開催！

病院への医療情報システムの導入は、だいぶ進みました。「紙」から「システム」へ変更の苦労は、もうありません。小規模病院・医院ではまだのところもありますが、これは今後の仕事ではあります。

病院の医療情報システムには、何が必要とされていると思いますか。電子カルテ，オーダーエントリー，医事会計，予約，診療支援部門（看護，薬剤，検査，放射線，手術，リハビリ，輸血，物流，検診，他）。これらを統合したり，ぶら下げたりしているシステムが，多くの病院で稼働しています。遠隔医療システムや地域医療福祉（介護）連携システム（北見市では「北まるネット」。救急車も連携）もあります。故障時や災害時，先日の停電のときはどうしたのでしょうか？健康保険システムの改定・更新にはどう対応しているのでしょうか。さらに，ベンダーとの交渉は？

過去に学生さんが就職した IT 企業等には，医療システム部やヘルスケア事業部がある場合があります。札幌に拠点のある会社では，NEC ソリューションイノベータ，エイチアイディ，シーエスアイ等が挙げられます。情報系学科を卒業して，働きながら「医療情報技師」資格を取得する方もいます。これは，日本医療情報学会による認定資格ですが，基本情報技術者資格で一部免除される試験科目があります。

今回は，医療情報処理エキスパート4名が，病院で必要とされている「病院の医療情報システムを動かす仕事」を紹介します。一般的な事務職から転職される方もいるそうです。システム開発の仕事から転職される方もいるそうです。4名の男性がプレゼンしますが，「女性に向いている仕事かもしれない」とも言っています。ラウンドテーブルディスカッションの時間も設けました。プレゼンターに直接質問していただける機会として活用してください。

日 時：2018年11月20日（火）18:10～19:50

場 所：A101講義室（1号館，1階），（+A102講義室，アトリウム）

対 象：就職活動を予定している（あるいは，現在活動中）すべての方々

### タイムスケジュール

司 会：木村恵美（ジョブカフェ・ジョブサロン北見）

18:10-18:12：就活支援セミナー「病院の医療情報システムを動かす仕事」の趣旨説明（早川）

18:12-18:27：「北星記念病院の場合」 田頭剛弦（北星記念病院）

18:27-18:42：「北見赤十字病院の場合」 河野洋樹（北見赤十字病院）

18:42-18:57：「社会医療法人明生会では」 日比野彰（網走リハビリテーション病院，道東脳神経外科病院，ほか）

18:57-19:12：「北見循環器クリニックでは」 今野伶司（株）えるびあ，北見循環器クリニック，ほか）

19:12-19:42：ラウンドテーブルディスカッションの時間（アトリウムまたはA102講義室）

15分間では言えないこと（大勢では言えないこと）を，少人数のラウンドテーブルでお話しします。こっそり聴きたい質問もどうぞ。以下のようなことを話題にする予定です。両テーブルに交互に参加して下さっても結構です。これを，ワールドカフェ方式と言うそうです。

テーブル1（田頭，河野）：「女性に向いている仕事かもしれない」「キャリアアップパスは？」

「ローカル（地方，地域）で必要とされている仕事だよね」

テーブル2（日比野，今野）：「運用って，ヘルプデスクになること？」「開発と違ってブラックではないよね？」

「医療のビッグデータがデータサイエンスに生かせる状況にあるのか？」

19:42-19:46：「私の感想」 江口直弥（北見工業大学情報システム工学科4年），ほか，参加者の皆さん

19:46-19:50：「まとめ」 早川吉彦（北見工業大学，医学物理士，DICOMWG-22メンバー）